

# 剣道



剣の究極を追い続け、ひたすらに鍛錬を重ねる剣士たち。禅にも例えられるその修行を多く積んだ高段者が、試合に臨む心は「無心」とか。ただ勝ち負けや点数にこだわるだけの試合は、剣道にあらず。礼に始まり礼に終わる、その気概や潔し。

国体剣道競技では、百戦錬磨の剣士たちが、剣禅一如の妙技を見せてくれます。

昨年の剣道競技リハーサル大会から



男子

## ▼食事のお世話

競技開催期間中、選手・監督が宿泊する民泊には食事のお世話も必要です。

林田山根民泊協力会では、本番に備えて「調理講習会」を行いました。この日に実習した料理は、地元産の食材をふんだんに使った歓迎メニューなどです。



交流ができれば…。お迎えする選手が出場する試合には、町内こそって応援に行きます」と、うれしい言葉もいただきました。母のような、みなさんの温かいお気持ちは、選手の心にきっと染み入ることでしょう。

井手美登里さん(林田)は、「おいしい料理で選手をお迎えできるように、町内のみなさんとがんばってます」と、意気込みを語ってくれました。

「選手と地域の人とで温かい

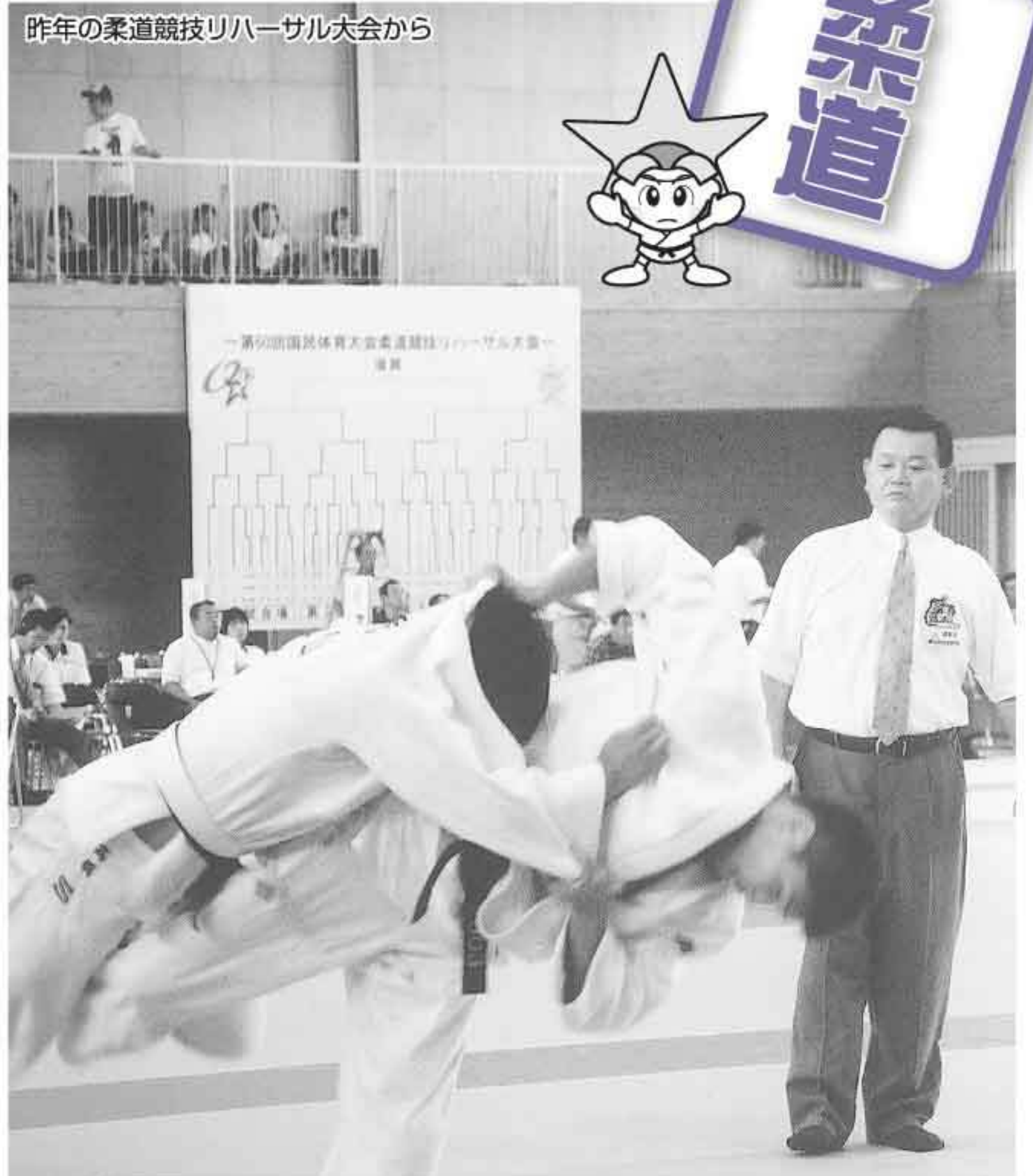


ウェルカムディナー





昨年の柔道競技リハーサル大会から



柔道

「柔よく剛を制す」とは、柔の道の神髄を説いた言葉です。「押さば引け、引かば押せ」の呼吸で、相手の攻める体勢に柔軟に対応し、相手を投げ制する妙技は、見る者を魅了します。古くより尚武の土地柄であるこの地で繰り広げられる国体柔道競技。目の肥えた観衆を飽きさせることのない、高いレベルの試合が行われます。

### ▼ 競技補助員

国体の運営は、多くの運営員・ボランティアのみなさんの協力で行います。各競技会場では「競技補助員」が競技運営を強力にサポート。柔道競技では、市内高校の柔道部員が競技補助員として協力します。

津山商業高校の柔道部員、原佑理恵さん（写真右・3年）と二木美幸さん（写真左・3年）も、進行係として参加します。掲示や放送など、係の任務は多岐にわたります。2人は昨年のリハーサル大会でも競技補助員として参加し、多くの経験をしました。「2人は選手としても優秀で、いろいろとよく気がつく。競技補助員として立派に働いてくれると思う」と顧問の先生。原さんは「選手や監督が気持ちよく競技に専念できるようにしたい」、二木さんは「昨年のリハーサル大会での経験をいかし、ミスがないように任務に当たりたい」と語ってくれました。半世紀に1度の国体地元開催。その大会にかかわる経験は、柔道選手の2人にとっても財産になることでしょう。



このほかにも多くの運営員・ボランティアによって大会運営は支えられます。地元開催を成功させるため、そしてすべての関係者の思い出に残るすばらしい大会とするために、みなさん、よろしく願います。

